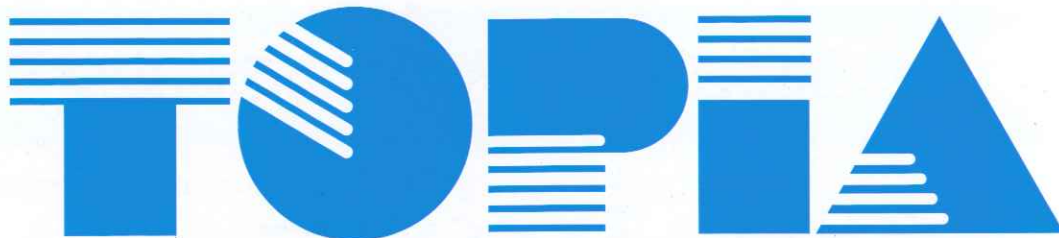


第59号



2014.01



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会 TEL: 088-656-3303



年頭のご挨拶

理事長 蛭多 克好



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましても、心新たに、健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。

去年は、失われた20年といわれる日本経済も、まだまだ国民全体に広がるとまではいえないものの、明るい兆しが見えはじめてきているのではないかとと思われる年であったのではないかと思います。

そうした中で、訪日外客数も、円安という追い風もあって、回復基調にあり、政府では年間目標を1000万人に置き、ビザ要件の緩和など訪日客の促進に向けて積極的に取り組んでいるところであります。

本県におきましても、当協会を核として、県民、行政、関係機関の力を結集し、県内在住の外国人の生活利便性の向上をはじめ、海外との経済交流活動などに対応する「ワンストップの情報発信拠点」として「とくしま国際戦略センター」を設置したところです。センターでは、「Wi-Fiスポット」を設けたほか、ホームページをリニューアルし、医療や防災、交通情報など在住外国人の方への生活支援情報や外国人観光客への情報提供、県内企業への海外販路開拓の支援などの情報を充実しました。また、語学力のあるボランティアを通訳の必要な方々に活用いただくマッチングシステムの再構築などに取り組んでいます。

さて、当協会も平成2年の発足以来早いもので25年目を迎えることとなりました。在住外国人や外国人観光客もかつてと比べ著しく増加し、日常的に外国人を見かけたり、接したりするようになってきており、多くの民間国際交流団体やN G Oも組織され、活発に活動されています。そうした方々にとって当協会がお役に立つ、利用しやすい機関となるよう、今後とも引き続き不断の見直しを行い、地域の国際化の中核拠点として施策の展開を図ってまいりたいと考えております。

どうか皆様方におかれましては、引き続き当協会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、本年が皆様方にとりまして、より良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

徳島県在住外国人のための防災意識啓発

防災センター・スタディ・ツアー

9月8日（日）に当協会では毎年行っている防災センター・スタディ・ツアーを開催しました。今年度は10カ国39名の方々が参加してくださいました。

最初に徳島県が制作した「津波から命を守る！」の映像を視聴後、地震、消火、煙、暴風体験をしました。体験終了後、当協会で作成をした「地震から命を守る防災ハンドブック」を使用しての地震津波に関する講話、緊急地震速報時の対処法についての講話、そして非常食の試食をしていただきました。

誰も災害が起こることを望んではいませんが、いつどこで起きるかわからないのも事実です。災害に対して今回のツアーを通じて日頃からの備え、そして知識が重要だということを実感していただけたと思います。



消火器の使い方を勉強中

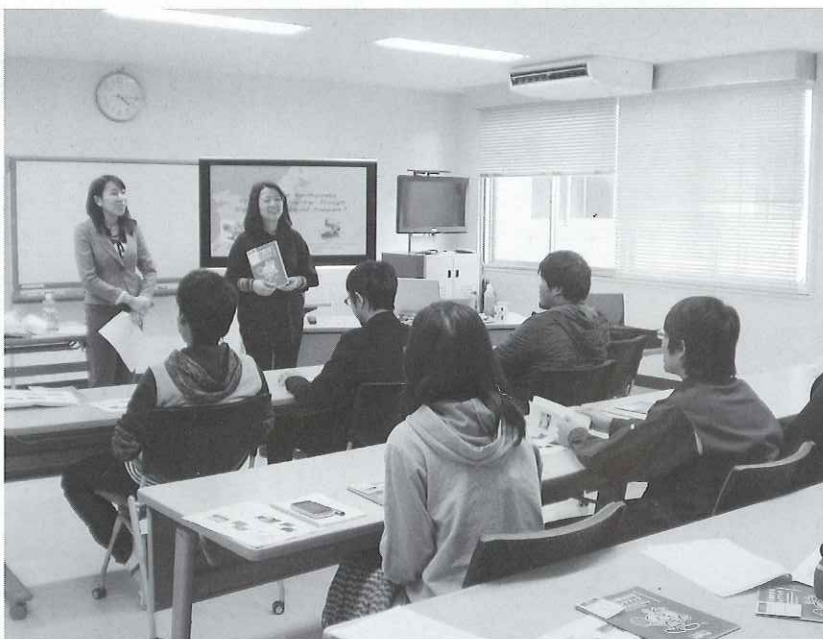


徳島県立防災センターにて

在住外国人のための防災出前講座

11月13日（水）、6カ国13名の留学生を対象にした防災出前講座を阿南工業高等専門学校で開催しました。阿南高専は海岸に近いことから、学校でも地震や津波が起こったときの対処・避難について留学生に指導されているようですが、今回は、さらに、日頃から防災意識を持ってもらうため、当協会が赴き英語によるプレゼンを行いました。南海トラフの巨大地震がおこる確率や、津波が発生したときの波の高さや到達までの時間、またどこに逃げるべきかなどについて具体的に説明し、防災グッズなどの実物を見せながら今日から防災の準備を行うよう伝えました。

当協会では、このような防災意識の啓発事業を「やさしい日本語・英語・中国語」で随時行っております。ご関心のある方は当協会までお問い合わせ下さい。



当協会では徳島地域留学生交流推進協議会との共催で、徳島県内の留学生とそのご家族を対象に、ホームステイ・ホームビジットを実施しています。平成25年度は11月9日から10日に、徳島県在住の留学生18名がホストファミリーの方々と一緒に思い出に残る時間を過ごしました。今年度、受入をしてくださった竹内さん、そして鳴門教育大学留学生の金さんと路さん達の体験談を紹介します。

来てくれてコップンカ～。 (ありがとう)

ホストファミリー
竹内 多賀子

11

月9日、鳴門教育大学に留学しているタイの学生さん、メイ、ジェイ、ブリーズの3名が我が家にホームビジットしてくれました。その1週間前に3人から電話を貰い、「サワディ〜カ〜。チャンチュ〜たかこカ〜。」とタイ語の自己紹介で盛り上がり、徳島駅で待ち合わせする時間の約束をしてから、ずっとこの日を心待ちにしていました。

当日、小3の娘とワクワクしながら徳島駅にお迎えに行きました。娘は「お姉ちゃんたちと一緒に何して遊ぼうかな?」それが一番楽しみな様子でした。駅前に現れた3人はとても可愛らしく、礼儀正しくて感心しました。



竹内さん宅にて

車に乗り込み、早速、趣味や好きな食べ物の話など色々話しながら家に帰りました。家に着くと主人や小6の息子にも笑顔で挨拶してくれ、早速、メイ、ジェイ、ブリーズ、息子、娘の5人でカードゲームを始めました。同じマークを見つけたら上にカードを重ねていくゲームで、気がつくとみんな真剣!でも終わってみるとみんな仲良し!年の離れた兄弟のようになっていました。(昼食後もまた5人でWiiのマリオカートで盛り上がっていました。)

昼食はおでんを用意しました。おでんを食べるのは初めてということで具はもちろんのこと、カラシにも興味を示していました。つけてみたら辛かったようで、ペ〜!(辛い!)と言っていました。食べ終わると3人が「お母さん、私たちがします。」と、片づけをしてくれました。「タイでもこんな風にお母さんのお手伝いしているの?」と訊ねると「ハイ。」と笑顔で返事が返ってきて、素敵なお両親が見えるようでした。

片づけをしてくれた3人に私も「コップンカ〜。(ありがとう)」と伝えて、タイのご家族の写真を見せて貰いながら、ご家族のことや住んでいる街について、また、将来の夢についても話してくれました。彼女たちの話す



日本語がタイ語のメロディーに乗って聞いていてなんだかとても心地よかったです。

午後からは、鳴門に行きました。行く途中で竹ちくわを買ってみんなで食べたり、大鳴門橋と海をバックに写真を撮ったり、渦潮をみたり、エスカビル鳴門に上ったり、大鳴門橋架橋記念館エディーでクイズに挑戦したり、ワイワイ楽しみました。娘が少し足を挫いたので、私だけが駐車場に車を取りにいて戻ってくると、3人が私のためにジュースを買って「お母さん、これどうぞ。」と手渡してくれました。その気持ちがとても嬉しかった

です。その桃のジュースは最高に美味しかったです。

夕食後、鳴門駅まで送り、お互いに「きょうはありがとう。また会おうね。」の気持ちを伝え、ハグして別れました。彼女たちのことを思い出すと、今も心がほんわかと温かくなります。子供たちにとっても彼女たちとの出会いは、国や年齢を超え、同じ人間としての「優しさ」や「思いやり」を感じるいい機会になったのではないかと思います。最後に、このような素敵な出会いの機会を与えて下さったTOPIAの皆さん、担当の木村さんに心から感謝いたします。ありがとうございました。

ホームステイを体験して

鳴門教育大学

金 紅蓮 (キン コウレン)
路 媛媛 (ロウ エンエン)

私

たちは中国の青島大学から来た留学生です。今年の10月に鳴門教育大学の交換留学生として日本に来て、二ヶ月になりました。まだ来て間もないですがとてもすてきな体験をすることができました。それはホームステイです。

ホームステイをすることになったところは徳島県阿南市の有賀さんのお宅でした。ホームステイの日が来るまでとてもドキドキしていました。朝早く、有賀さんは私たちを迎えに学生宿舎まで来てくださいました。有賀さんは阿南まで行くには時間がかかると言って、飲み物やいろいろなお菓子を用意してくださいました。有賀さんの親切さに感動しました。

私たちがここに来たばかりだと聞いた有賀さんは私たちをいろいろなところに連れて行ってくださいました。初めに渦潮を見に行きました。残念ながら時間がずれて、渦を見ることができませんでした。それでもとても楽しかったです。そして眉山にも行きました。紅葉がとても綺麗でした。プリクラが撮りたいという無理な要求にも応えてくださいました。

午後四時ごろ、有賀さんのお宅につきました。有賀さんの奥様も、娘さんも笑顔で迎えてくれました。有賀さんの孫娘



有賀さんと一緒に鳴門観光



有賀さん宅にて

さんたちはとても可愛かったです。夕食の前に、私たちはみかん狩りをしに行きました。自分の手でみかんを取るの初めてで、とても興奮しました。有賀さんは取ったみかんを全部プレゼントとして私たちにくださいました。

家に帰って、お菓子を食べながら孫娘さんたちと遊びました。そして、夕食の時間になりました。有賀さんの奥様は心を込めて和食を作ってくれました。目で見ても綺麗だったし、口で食べても美味しかったです。とても楽しかったです。夜八時すぎて、ケーキとコーヒーも用意してくださいました。たくさん食べてお腹がいっぱいになりました。そして暖かい布団の中で寝ました。

次の日、有賀さんの奥様は私たちに生花を教えてくださいました。この花は何という花で、どこにどの様に挿すかも一つ一つ親切に説明してくださいました。それからパンの作り方も教えてもらいました。初めて自分でパンを作って食べて、とても楽しかったです。そして、私たちの希望に応じて、着物も用意してくださいました。とても色鮮やかな着物でした。着方が複雑にも関わらず、親切に着付けをしてくださいました。私たちが旅行に行きたいと言ったら、いろいろ旅行に関する本をくださいました。そしてアドバイスもしてくださいました。

帰る時間になって、みんなと庭で写真を撮りました。そして、いろいろなプレゼントをいただきました。最後に学校の宿舎まで送ってくださいました。

有賀さんのお宅でたくさん大切な思い出を作りました。自分の気持ちを言葉にするのは下手なので、口に出せなかったですが、有賀さんと有賀さんの家族にはいつも感謝しています。本当にいろいろとお世話にな



着物の着付け体験中

りました。ありがとうございました。機会があったら、ぜひ再びお宅にお伺いして、感謝の気持ちをお伝えしたいです。

ホストファミリー募集中!

皆様も留学生と過ごす中で、異文化のことについて学び、心の国際交流をしてみませんか? 詳しくは当協会までお問い合わせ下さい。申込書は当協会のホームページ(とくしま国際戦略センター)の「各種申請・会員(ボランティア)募集」からダウンロードして頂けます。



みんなで仲良く国際交流！

木沢小学校教諭
松田 由貴

徳

島県国際交流協会の国際理解支援講師派遣を活用

させていただき6月22

日(土)、第19回国際交流集会を那賀町立木沢小学校体育館で行いました。今年度をもって、木沢小学校が休校することもある、思い出深い集会になりました。

今年は、講師に松尾ドウルシーさん(ポルトガル)とケレコリオ・マカさん(トンガ)をお招きしました。木沢の子どもたちは、毎年この集会を楽しみにしており、講師の先生が訪ねて来る前から世界地図を見て「こんな遠い国の人に来てくれるんじゃない。」と胸を踊らせていました。

当日、ドウルシーさんには、ポルトガルの民族衣装を着せていただいたり、食べ物や遊びも教えていただいたりしました。教えていただいた2人組でするボードゲームは人気があり、国際交流集会が終わった後も、子どもたちが楽しんで遊んでいる姿を見ることができました。マカさんは、得意のウクレレを足や歯で弾いたり、各種の楽器を同時に演奏したりするなどのパフォーマンスを見せてくれました。みんなで手拍子をして、会場全体が一つになり、参加者を大いに盛り上げていただきました。

子どもたちも英語で歓迎のことばを言ったり、交流ではクイズやジェスチャーゲームをしたりしました。また、日本の昔からある遊びの「だるまさんがころんだ」と「相撲」を講師の先生に紹介しました。その後にみんなでいっしょに遊びを楽しみました。どの遊びも大変盛り上がり、参加者全員が楽しいひとときとなりました。

会場に来ていただいた保護者・地域の方のアンケートでは、「民族衣装や音楽など外国の異文化になかなか接する機会がないので、もっと多くの人に知ってほ



講師の先生と児童たち



マカさんと一緒に相撲

しいと思いました。」や「楽しく交流させていただきありがとうございました。外国の方との交流はめずらしく、子どもたちも生き生きしていたようです。」などの意見を書いていただきました。

異文化に触れることで、新しい世界を知ると同時に、日本そして木沢を改めて知るきっかけになればと思います。また、人と人との関係において「違いを知り、認め合う」ことは、人権教育の基本でもあります。子どもたちには、様々な体験を通して、人権感覚を身に付けてほしいと願っています。

「ご活用下さい！ JICA出前講座」



今年度も様々な場で、JICA ボランティア（青年海外協力隊・シニア海外ボランティア）経験者や海外からのJICA 研修員による出前講座が実施されました。2013年度徳島大学「春夏の大学公開講座」では、「世界の食卓からのぞく人々の暮らし ～ JICA ボランティア（青年海外協力隊・シニア海外ボランティア）の経験から～」というタイトルで、連続講座（内容は下図参照）を担当しました。200近い職種で世界約80カ国へ派遣されているJICA ボランティア。2年間現地の人々と共に暮らした体験者ならではのネタが満載で、毎回配付される各国料理レシピも好評でした。同様な内容やリクエストに沿った形での出前講座が可能です。ぜひご活用下さい。

世界の食卓からのぞく人々の暮らし

- ① スパイス大国 スリランカ
- ② ジャガイモのふるさと ボリビア
- ③ 栄養士が語るニジェール料理
- ④ メインは肉！ パラグアイ
- ⑤ 麺類が豊富！ ベトナム
- ⑥ デザートもおいしい フィリピン
- ⑦ ヒマラヤのある国ネパールの食事
- ⑧ 分かち合いの食卓 ヨルダン
- ⑨ 断食後のごちそう モロッコ
- ⑩ ワインでお祝い チリ



スリランカの野菜・魚市場

★ JICA 研修員による国際交流ワークショップも実施しています★

JICA 研修員による学校や様々な教育現場におけるワークショップは、常にたくさんの笑顔であふれています。映像による現地の紹介や現地の踊り、歌等による参加型アクティビティは子どもにも大人にも人気です。



インドネシアからの研修員による講座

JICA 出前講座 お申込み・お問い合わせ先

【JICA 徳島デスク (TOPIA 内)】

電話 : 088-656-3303

ファックス : 088-652-0616

メール : jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

多文化共生フォーラム

現在、徳島県には約 70 カ国、約 5000 人の外国人の方々が生活しています。国籍にかかわらず同じ地域の一員として、「ともに暮らしやすい社会」について一緒に考えてみませんか？多方面で様々な経験をされてきた蓮井氏のお話から、たくさんのヒントを頂きましょう！

講 師：蓮井 孝夫 氏

(NPO 法人香川国際ボランティアセンター代表理事)

日 時：平成 26 年 1 月 31 日(金) 14:30 ～ 16:30

場 所：(公財) 徳島県国際交流協会 会議室

入場料：無料

申し込み・問い合わせ：当協会まで

詳細については、当協会のホームページ（とくしま国際戦略センター）をご覧ください。当日参加大歓迎ですが、できれば事前に電話か FAX またはメールでお申し込みください。

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」

募 集 中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

近年、気象の変化に伴い台風などの自然災害をはじめ、南海トラフ巨大地震も危惧されています。ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

なお、この制度の詳細な内容、登録書類、ボランティア依頼の申請書につきましては、当協会ホームページ（とくしま国際戦略センター）からダウンロードできます。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度

団体会員 一口 5,000 円 / 年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

英語・中国語 多言語電話相談(窓口案内)員

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、さらにきめ細かく生活相談や観光案内をすることができるよう、英語・中国語対応の多言語電話相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごさいます。是非、ご活用ください。

英語担当：池上 中国語担当：藤原

受付時間：平日 10:00 ～ 18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

全ての依頼に応えられない場合もあります。ご了承ください。

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快に多文化交流 & 異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61

クレメントプラザ 6F

Tel：088-656-3303

Fax：088-652-0616

URL：http://www.topia.ne.jp